

# VISUAL ARTS CULTURAL STUDIES

専門分野を軸足にさまざまな分野を学び、  
美術文化を担う人材を育成

## 美術文化専攻

確かな技術と諸問題を切り拓く構想力を有する表現者  
また、幅広い視点から美術に精通し美術文化を地域社会に広め  
美術による地域の活性化を促すことのできる人材を育成します

美術

デザイン

書画

工芸

メディア

タイムアート

美術文化教育

### 美術文化専攻 / 4年間のスキルアップ

1年 2年 3年 4年

#### 自分にフィットした 分野の探索

さまざまな分野の中から選択した基礎科目の体験を通じ、大学で学ぶための基本を習得しながら自分の目指すジャンルを探ります。

#### 横断的な 専門分野の習得

研究室に所属し、自分の分野における基礎の習得に加えて、興味のある他の分野の基礎を学ぶことで横断的に専門を深めています。

#### 少人数制による 実技能力の育成

専門を深く理解するための理論や演習を学びます。各分野少人数体制で、個々人に対応したきめ細かな指導を行います。

#### 卒業制作・卒業論文 向け、総仕上げ

専門科目をより高度に学び、社会でも通用する能力を身につけるとともに、卒業制作や卒業論文に取り組みます。

#### 専攻専門科目

- |                   |              |               |              |
|-------------------|--------------|---------------|--------------|
| ■ 美術文化基礎          | ■ 油彩画        | ■ 木工          | ■ キャスティングアート |
| ■ 美術・デザイン文化基礎     | ■ イラストレーション  | ■ 金工          | ■ 社会と芸術の関わり  |
| ■ 書画・工芸文化基礎       | ■ 日本画        | ■ メディアコンテンツ   | ■ 公共芸術論      |
| ■ メディア・タイムアート文化基礎 | ■ 染織         | ■ アニメーション     | ■ 各科目特講      |
| ■ 絵画演習            | ■ 映像         | ■ 芸術学         | ■ 図法及び製図     |
| ■ 総合演習            | ■ 美術指導       | ■ テーマドローイング入門 | ■ 美術文化実地研修 他 |
| ■ 彫刻演習            | ■ 現代美術論・美術館学 | ■ 現代美術の作品設計   |              |
| ■ デザイン演習          | ■ 彫塑         | ■ シルクスクリーン    |              |
| ■ 工芸演習            | ■ 現代美術・空間表現  | ■ 写真基礎        |              |
| ■ 美術史・美術理論        | ■ 書          | ■ 本づくりとブックアート |              |

### 油彩画研究室

船岳 紘行 Hiroyuki Funaoka

人は社会のルールに沿って生きることを強いられますが、個人の幸せをその中で満たすことはできません。夢中になって描く時、日常の時間や空間に捉われない自由の感覚を得ることが出来ます。人間の根源的な気持ちが物質化された絵画は、時代や国境を越えて私たちの感覚を揺さぶり解放してくれます。当研究室では、基礎的な訓練をしっかりと行いながら、様々な絵画作品から表現技法や構図、配色、イメージの構築方法などについて学びます。そして、描くことを通して自身の感性や特性を知り、自分だけの表現を追求していきます。

描いて描いて  
自由になる！



令和9年3月退職予定

### 現代美術・ 空間表現研究室

坂巻 正美 Masami Sakamaki

人間は空間を経験しながら場所を形作る。空間は目の前から果てしなく広がり、また自身の内面へも深く浸透する。場所の歴史性に注目すると、その痕跡から想像力が刺激される。イメージの力と自由な創造性を駆使し、新たな空間を形作る行為を学んでいく。芸術作品は究極の謎と言われる。一般に現代美術は、わからない！嫌い！と聞くことが多いが、感情のレベルを越え、歩み寄りなければ見えないものがある。これらを踏まえて作品の制作・発表と受講者間の活発な対話を通じ、空間概念の深遠に触れる学びを求める者よ、ぜひ来たれ！

北方の辺境地でしか  
表現できない作品がある



※美術文化専攻の研究室への所属は、教員の退職や所属人数等により、希望に添えない場合があります。



## 彫塑研究室

山内 祈信 Kishin Yamauchi

彫塑は聞きなじみがない言葉かもしれませんが、彫刻ならばイメージしやすいかもしれません。北海道では公共の場などで彫刻を目にする機会は多いと思いますが、みなさんは彫刻と聞いて何を思い浮かべますか？偉業をなし遂げた人物の銅像、待ち合わせの目印となっている抽象彫刻、ギリシャ神話がテーマの大理石彫刻…。実はこれら以外にも様々な彫刻作品が先人たちによって制作されてきました。現実の空間になにかを存在させることは、体力的に少し疲れますが、あなたが「世界」とつながるきっかけになるかもしれません。



彫刻に触れ、世界に触れる



## まちづくりデザイン研究室

酒井 秀治 Shuji Sakai

「まちづくり」という言葉、どこかで耳にしたことがあるのではないですか。でも何とみてもつかみどころがありませんね。まちが対象なので当然、建物や空間、公園・広場など物的な環境をデザインすることですが、大切なのはそこに暮らす人々や地域の課題に向き合って、人のつながりや活動の仕組みをデザインすることです。まちづくりに決められた解答はありません。皆さんの創造力と行動力がまちをもっと楽しくワクワクさせます。一緒にまちづくりの現場に飛び込みましょう。ミツパチと触れ合うことも未来のためのまちづくりです。



まちづくりマインドで自分の暮らしを楽しく



## イラストレーション研究室

大西洋 Yo Onishi

イラストレーションを学ぶためには、基礎的な造形の理解と実践的な制作が欠かせません。地域での実践では、地域に根ざしたイラストレーションが求められ、地元のお店や団体とコラボレーションすることもできます。近年、デジタル分野でもイラストレーションの需要が高まっており、手描き技術だけでなく、デジタルツールを使った技術も重要になっています。クリエイティブな視点や考え方も不可欠であり、独自のアイデアやスタイルを追求することが必要です。研究室では、自分の表現力やコミュニケーション力を高め、イラストレーションを通じて考えを展開し、活用していくことができる人材を育成したいと考えています。



イラストレーション制作で磨く表現力とコミュニケーション力



## 日本画研究室

羽子田 龍也 Tatsuya Haneda

「日本画」と聞くと、少し堅苦しいイメージを持つ人が多いですね。しかし日本画はその少しの堅苦しさを堅持した結果、現在の美術業界において独自の輝きを持ち始めているように見えます。その変わらない堅苦しきの大きな要因である歴史的背景や画材・技法と、現在のデジタルな世代の感覚との融合によって、独特な魅力を形成しているのではないのでしょうか。この日本画研究室では、いろんなことを踏まえた上で、自分なりの「日本画」を創ってみたい人を応援します。



温故知新を地でいくジャンル=日本画





## 書研究室

土井 伸也 Shinya Doi

筆、墨…幼少期の苦い記憶が蘇った方もいるのでは？いえいえ、「習字」ではないですよ。「字（ことば）に挑む」というと格好良すぎるかな？書きたいことや文字に思いを馳せ、書者の運動そしてリズムが渾然一体となり、その刹那に表現される「書」。まさに紙の上のドラマです。その瞬間をつかむためには、当然、反故（失敗作）の山をいくつも越えなければなりません。このプロセスこそ「書」の作品作りの醍醐味です。共に表現者として古の名跡や仲間との対話を通じ、良い作品とは何か探求していこう。

「書」…  
刹那に生まれるドラマ



令和9年3月退職予定



## 金属工芸研究室

佐々木 けいし Keishi Sasaki

工芸は美術の中の1つのジャンル？いいえ、実は美術とは並列の位置づけにあります。工芸は素材を知ることが一番大切で、素材との対話が全てと言っても過言ではありません。次に技術が必須です。最後に美術で語られる芸術性に加わる場合があります。「日本人は深く物静かな繊細さを持っている」1862年開催のロンドン万博へ、日本で収集した工芸品を出品した駐日英国公使、ラザフォード・オールコック氏の言葉です。この言葉に込められたような日本人独自の感性で伝えられてきた工芸は、伝統的でありながら最先端と考えて研究しています。

日本人は深く物静かな  
繊細さを持っている



## 木材工芸研究室

阿部 吉伸 Yoshinobu Abe

太古より人の身近にあった素材は木だと言われます。木のことを知れば知る程、今の時代だからこそ木から学ぶことは多いと感じることでしょう。自然環境が豊かな北海道において、地域の資源でモノづくりをすることの意義は大きいと言えます。学びの場となる実習室には各種木材加工機械を備え、明るく広い空間でじっくりと工作に打ち込むことができます。木の魅力を学び、想像力でこの先の時代を見据えた創造力を身につけることを目指します。

「想像」する力で  
「木で創造」する



令和6年3月退職予定



## 染織研究室

竹田 園子 Sonoko Takeda

勉学の合間にほっと一息つきたいとき、丁寧に作られたお気に入りのカップでいただくお茶は私たちの疲れを優しく癒してくれます。なぜなら心澄ませばそこには、姿の見えない一人の作り手の思いが寄りそっていることを密かに感じるからではないでしょうか。真心を込めて作られた工芸品は陰ながら私たちの暮らしを支え、時を経ていつか大切な友人のようになってくれます。若く純真で柔らかな感性が工芸品を通して多くの人々に届けられ、日々の暮らしを健やかに変えてくれますように—

健やかな暮らしに  
寄りそう工芸品







## メディアコンテンツ研究室

三浦 啓子 Keiko Miura

「〇△が欲しい」「〇△を知りたい」そんな時、いくつかのやりとりを経て〇△が自分のところに届いています。身近なものが媒体となり、情報のやりとりが、視覚をはじめとした身体を通して行われています。その体験の過程は、ものの方、考え方に発見・驚きを与えることがあります。

ここでは、そのやりとりに着目し、より面白い体験を企て実践します。伝達のための表現を「やりとりのデザイン」を軸に考えていきます。いろいろな分野を横断して繋ぐことに面白さを感じ、柔軟でかつ好奇心旺盛な人を待っています。



なにげないやりとりの中に発見がある



## アニメーション研究室

倉重 哲二 Tetsuji Kurashige

ひと昔前までアニメーションといえば、対象を少しずつ動かしながら撮影する「コマ撮り」のイメージでした。「無生物」を生きているかのように動かしたい欲望は太古よりあって、その時々々のテクノロジーに寄り添いながら我々は様々な方法で「命」を与えてきたのだと思います。

現代では、モーションキャプチャー、AIを活用した新しい「命の与え方」も登場してきています。様々なテクノロジーに触れながら、それでもそれらを使って「何を生み出したいのか？」を大事に、皆さんと一緒にアニメーションの世界を漂流したいと思っています。



命を与える方法



## 映像研究室

伊藤 陸介 Ryusuke Ito

SNS、映画、テレビ、音楽PVはもとより、今や美術でも写真を含めた映像作品が大きな分野になっています。様々なアウトプットがある映像の世界ですが、基礎力は「世界」を切り取る「個人の視点」と、「共感」を引き出す表現です。研究室では発想、撮影、編集、VFX、理論などはもちろん学べます。が、技術習得以上に、「見たことのない」ビジュアルで、しかし同じ現代を生きる者として「刺さってくる」表現とは何かを、いっしょに模索しましょう。



今を生きる人に届く、面白い表現を探しましょう



## アートマネジメント美術研究室

三橋 純予 Sumiyo Mitsuhashi

ゼミでは「芸術文化、教育、マネジメント」のアプローチから、アート表現の可能性を探り、多様な伝え方を実践的に学びます。美術館等の文化施設と連携した展覧会やワークショップ、現代美術家とのアートプロジェクト、文化庁や厚労省のモデル事業、岩見沢市と連携する「アールブリット（障がい者芸術活動支援）」など、幅広くネットワークを築いて活動しています。美術関係者による国内外からの遠隔講義もあり、社会の中で芸術文化に関わる人材の育成を目指しています。



社会における美術文化の可能性を追求する





## 芸術学研究室

一條 和彦 Kazuhiko Ichijo

芸術作品に触れたとき、人はいろいろなことを考えます。でも、時には何も考えられずにただただ圧倒されることもあります。芸術学研究室では、そのような経験も考慮しながら、さまざまなレベルで芸術の意味するところを考察します。比喩的に言うなら、どう見てもカバにしか見えないムーミンはなぜムーミンたり得るのか？ というようなことを徹底的に考えます。ゼミでは主に、西洋美術史に関する論文の講読をおこなっています。

「ぼくは、カバじゃないよ、  
ムーミンだよ」



## 美術教育研究室

岩崎 仁美 Hitomi Iwasaki

教育には、いかなる時代であっても変わらない不変的なものと、時代の流れとともに変化していくものがあります。美術教育における不変（＝不易）を見極めつつ、時代とともに変わっていくこと、変わらなくてはならないこと（＝流行）について、本研究室では、「学習者」「教師」「美術家」の三つの視点から考察していきます。美術を通して、どのように社会貢献ができるのか…、アートによるコミュニケーションで人と人との繋がりを広げ、人間社会に新しい価値を創造していくことに興味関心をもつ学生を待っています。

アートによる  
コミュニケーション



## 学生インタビュー

# Youは何しに岩教へ？

Why did you come to Gankyo?

You

温井 彩加

所属：美術文化専攻 油彩画研究室 4年

出身高校：北海道北広島高等学校



### Youはどうして岩見沢校に入学したの？

推し作家と出会ったからです。中学時代の美術部の顧問が岩見沢校のOBだったので、岩見沢校のことはかなり前から知っていました。高校2年生の夏、美術系の大学に進学するか、他の大学に進学するか迷っていたところ、油彩画研究室の展覧会で憧れの作家と作品に出会い、めちゃくちゃな衝撃を受けました。「私もこの人みたいな作品づくりがしたい」「この人の新作を間近で追いつきたい!」と思い、その勢いで岩見沢校の自己推薦入試を受験し、現在に至ります。

### Youは今どんな活動をしているの？

文字通り、油彩画研究室で油彩画を描いています。私が入学したときに新型コロナウイルス感染症が流行し、大学1・2年生の間は全然活動ができませんでした。その分、今は昼夜兼行して作品制作に取り組み、失った2年をどうにかして取り戻そうと奮闘しています！現在は画材と工具を用いて変形キャンバスを自作し、油彩画の基礎を押さえつつ、四角の概念を崩すような作品を描いています。キャンバスの設計から始めるので、周りの人より多くの時間を要しますが、その分唯一無二の作品ができるので、この制作スタイルを貫いています。



二紀展に出品した2作品

### 卒業後のYouは何する予定？

卒業後は、正社員として働きながら絵を描き続けたいと考えています。自身の就職活動がどうなるか全く見当もつきませんが、働きつつ制作活動も続ける生活を送ることができたらと思います。そして、社会人になってからも研究室や、同期との繋がりを大切に、OGとして展覧会や公募展に参加するなどして、定期的に交流し続けたいです。短い大学生活の中で培った人脈を一生ものとして捉え、自分の「好き」を最後まで貫き通すことができる人生を歩みたいです！

### 岩見沢ってどんなところ？

岩見沢といえば豪雪、そして地域の人が優しいというイメージがあります。私の体験談になりますが、昨年、景色がホワイトアウトするほどの大雨に降られてしまい、全身ずぶ濡れでお店の前で立ち往生していたところ、店主のご婦人に助けられ、タオルや靴下を頂いた他、昼食もご馳走になり、成り行きでお店のポップの仕事まで頂いた経験があります！漫画のような話ですが、市内で生活していると市民の方々の温かさを実感する時があります。岩見沢は支え合いの精神がある素敵な場所です。



物を貼ったりキャンバスを加工したりするのが好きです

### 受験を考えている皆さんへ、Youからのメッセージ

受験予定の皆さんには、早めの行動と目的意識を持った努力をしてほしいです。美術文化専攻には共通テストの他、実技試験があり、双方の両立が鍵となってきます。特に後者に関しては描いた枚数と時間が物を言うので、なるべく早いうちから対策をとり始め、それを地道に続けていくことが理想です。そうでなくとも、立ち止まって考える前に即行動、とにかく描くことを大切にしてください。そして「学校にいる間と隙間時間は勉強、放課後は実技」と自分なりに区切りを決め、その時間で自分が何を理解し、何を身につけたいのかを明確にして対策に取り組んでみて欲しいです。皆さんの努力が報われて、来年の春、岩見沢校へ入学できることを強く願っています！

# 美術文化専攻 入試情報

## 募集人員・選抜方法・配点

	募集人員	選抜方法	配点		
総合型選抜 (自己推薦入試)	14	実技検査または小論文 (右の内容から1つ選択)	デッサン/3時間	/	
			書(臨書)/3時間		
			小論文/2時間		
		ポートフォリオ等			
		面接/20分程度 ※5~10分程度のプレゼンテーションを含む			
一般選抜 (前期日程)	26	大学入学共通テスト	500	1,500	
		実技検査	構成着彩/6時間		600
			デッサン/5時間		400
一般選抜 (後期日程)	15	大学入学共通テスト	500	1,000	
		実技検査(デッサン/3時間)	300		
		面接(口頭試問含む)/15分程度	200		

## 各選抜の実施方法等

### 総合型選抜 (自己推薦入試)

参考: Q&A (p.50)

事前に提出する「自己推薦書」、「調査書」、「ポートフォリオ」と、試験当日に課す「実技検査又は小論文」、「面接(口頭試問を含む)」により総合的に評価し、総合得点の高得点順に選抜します。大学入学共通テストは課されません。

### 一般選抜

#### ■ 大学入学共通テスト

必要科目は国語と外国語が必須、数学・地歴公民・理科の中から1教科選択の、3教科3科目又は4科目です。

#### ■ 前期日程

1. 実技検査(デッサン)
2. 実技検査(構成着彩)

#### ■ 後期日程

1. 実技検査(デッサン)
2. 面接

### CHECK

総合型選抜では、専門的な分野に関する強い目標・目的意識を持っているかを重視し、分野と個性のバリエーションのある学生を求めています。

前期日程では、美術に関する高い実技能力を有しているかを重視し、学力とのバランスが良い学生を求めているので、実技検査の配点が他の選抜に比べて高くなっています。

後期日程では、共通テストと面接の割合が高く、基礎的なデッサン力と学力に加え、美術を学ぶ意欲を重視した試験内容となっています。

## 過去の入試問題

### 【令和5年度総合型選抜(自己推薦入試) 実技検査等】

#### ● デッサン(写真※1)

##### 【問題】

与えられたモチーフを、木炭または黒鉛筆(併用可)でデッサンしなさい。用紙は、木炭紙または画用紙を自由に選択しなさい。画面の縦位置や横位置は自由とします。

#### ● 書(臨書)

【問題1】次の課題を画仙紙半切3分の1に臨書しなさい。

雁塔聖教序「智通無累」

【問題2】次の課題を半紙に臨書しなさい。

礼器碑「青龍」

【問題3】次の課題を画仙紙半切に臨書しなさい。

孫秋生劉起祖等造像記「來身神騰九空。迹登十地。五道群生。」

【問題4】次の課題を画仙紙半切に臨書しなさい。

温泉銘「乃為銘日。巖々秀岳。横基滑瀉。」

※与えられた課題を使うこと

※必ず落款を入れること(印は不要)

#### ● 小論文

##### 【問題】

地域社会における美術文化や美術教育の役割及び意義について、自分の体験等も含めながら考えをまとめ、1400字以上1600字以内で述べなさい。

### 【令和5年度一般選抜(前期日程) 実技検査等】

#### ● 構成着彩(写真※2)

##### 【問題】

与えられた素材を自由に構成し、画面に彩色しなさい。

条件 1.与えられた素材は自由に加工してもよい。

2.画面の縦位置、横位置は自由とする。

#### ● デッサン(写真※3)

##### 【問題】

与えられたモチーフを、木炭または黒鉛筆(併用可)でデッサンしなさい。用紙は、木炭紙または画用紙を自由に選択しなさい。画面の縦位置や横位置は自由とします。

### 【令和5年度一般選抜(後期日程) 実技検査等】

#### ● デッサン(写真※4)

##### 【問題】

与えられたモチーフを、木炭または黒鉛筆(併用可)でデッサンしなさい。用紙は、木炭紙または画用紙を自由に選択しなさい。画面の縦位置や横位置は自由とします。



※1



※2



※3



※4

過去の試験問題は本学ホームページの「入試情報」で公開されています。

<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/faculties/exam/data/>



### 構成着彩、ポートフォリオとは

「構成着彩」とは、与えられた素材の特徴(色、形、質)や、それらを組み合わせることのできる工夫など、素材への観察力を平面の画面上で着彩表現できているのかを確認する実技検査です。

「ポートフォリオ」とは、これまでの自身の作品や活動実績などをアピールする作品集のことです。作品写真や文章等を用いて一冊にまとめてください。

※入試情報ページに記載の内容は前年度実施した内容であり、今後変更になる可能性があります。必ず大学ホームページや、「入学者選抜要項」「学生募集要項」で最新の情報を確認してください。